

有機農業講演会に際してお願いしたアンケートの結果をお伝えします

「飯南町ヤマトイモ生産者大会および有機農業講演会」が2013年2月17日、島根県中山間地域研究センターにおいて開催されました。

循環型農業研究会はこれまでの数年間、ささやかながらも共に活動してきた仲間への呼びかけ、今回の催しに参加しました。そして研究会として記念講演に関するアンケートをお願いしましたところ、大変貴重なご意見をいただきましたので、その結果をお伝えします。

なお、記念講演して下さった山中通博先生ですが、昨年6月11日、当研究会が進めている「たんじゅん農法」を、特にリンゴ栽培に興味を持って見学に来て下さったことから交流が始まりました。しかし現実には私達がお世話になりっぱなしで、農産物の栽培から加工にいたるまで懇切丁寧なご指導を下さっています。こうしたご縁で、この度の記念講演に応じていただき、有意義な講演会が実現しました。

山中先生には衷心から感謝申し上げます。

平成25年2月21日
飯南町 循環型農業研究会

※ 有機農業講演会に関し、次の一文を付して、アンケートをお願いしました。

循環型農業研究会は、儲かる農業をめざして活動することは元よりですが、私達が栽培した野菜やお米を食べることで、消費者の皆様と共に健康を手に入れたいと願っています。この目的を達成する手段として、本会の趣旨に賛同して下さる方に情報を発信していきます。今後の活動に役立てたいと思いますので、下記アンケートにご協力をお願い致します。

有機農業講演会に関するアンケート結果

◎講演会参加者 赤名 10人・来島 11人・頓原 11人・志々 3人・町外 6人 …合計 41人

※ 以下はアンケートに応じて下さった方についての集計です

■年齢 30代 1人・40代 3人・50代 7人・60代 2人・70代 2人・不明 1人 ~ 合計 16人

■性別 男性：12人 女性：4人 ■農業経験 有り11人 無し5人

1) 講演内容や講演時間についてお聞かせ下さい

▽. 「有機農業への興味が高まった」「良かった」「有意義なものでした」
「時間が短かくて残念」「もっと聞きたかった」「講演時間がもう少し欲しかった」
講演の全体像が不明…全体構成が分かるパンフレットがあれば良かった
山中先生には遠路お出で願ったのに講演時間が短すぎたのではないか
農業が素人の方には内容が難しかったのではないか
有機農法についてとても参考になった
大変に面白かったし勉強になりました
山中先生の話は非常に分かりやすかった

2) 山中先生の講演は、有機農業が中核でしたが、自然農法などに関し率直なご感想を

▽. 飯南町の農業の基本になる
太陽熱養生処理は有効な処理方法だと思う
理論に裏付けされた実践型の農業であり説得力があった
有機農業は難しいというイメージがあったが、今日の話聞いて少し変わってきた
管理や手間が大変だと思う
たんじゅん農法、および自然農法が一番良いと思う
太陽熱養生処理は、飯南町内の作型でも適用できるという点が興味深かった
太陽熱養生処理について考えてみたい
いずれ取り組みたいと思いますが、寒冷地には難しい面もあると思います
私には話が高尚過ぎて理解し難かった
各野菜には出荷されない時期があり、その時期をねらうことは大変面白い

内容はビジネス農法だと思うが、自分が食べるものは安心できる物をと努力している堆肥だけ散布すれば良いと思っていたが、そうではなさそうだ。難しいかも知れない

3) 山中先生がご紹介下さった「万次郎かぼちゃ」についてのご感想は

▽. かぼちゃの国内生産を増やせば、輸入に頼らなくても良くなりますね

「栽培してみたい」「おもしろい!」「絶対に面白いと思う」

実物を見てみたい 食べてみたい 作ってみたい

すき間がねらえる長期保存可能な品種とのことで興味を持ちました

万次郎かぼちゃの味はどういうものだろうか…食べてみないと分からない

長期保存がきく、輸入が多い作物、というところに目をつけられた点が勉強になった輸入品に対抗できる農産物を国内でも作ることが重要だと感じた

「かぼちゃは手間もかからず良い商品だと思います。万次郎は美味しいです。日照時間や温度に恵まれている土地が適していると思いますが、促成物はそれなりの味で、寒冷地ならではのものもあると思います」

4) 今後の講演や研修について具体的な提案など、ご意見がありましたらお聞かせ下さい

▽. 有機農業の、土作り編・管理編・収穫編など写真を見ながら説明をじっくり聞きたい

昼食をとりながら、あるいは午後にまわすなどして講演時間を確保してほしい

ヤマトイモの栽培中途に、生産者の方の畑を見学させていただき、勉強したい

とても参考になったので、今後も色々な栽培方法について聞きたい

これからは、より具体的な栽培にむけて進めて欲しい

T P P問題は切実だ。T P Pに対応するために、少し突っ込んだ研修をお願いしたい

有機栽培の必要性をテーマに講演会を行い、町民間でディスカッションしてはどうか

J Aや全農の出荷規格に固執せず、新たな規格による新商品開発にむけた研修を望む

牛糞や鶏糞堆肥などのメリットと、その利用を促す様な講演をしてもらいたい

こうした企画があれば、また是非教えてください

実際に有機農業に取り組んでおられる現地を見てみたい

5) 農薬や除草剤や化学肥料を使用しない農業（家庭菜園を含む）が可能だと思いますか

▽. 知識がなくては難しいと思います

可能かも知れませんが食味とかはどうなのでしょう

「可能です」「出来ると思う」「可能だ」「可と思う」「有機無農薬栽培は可能だ」

「無理だと思う」「出来るとは思わない」

科学的な計算方法が理解出来ません

可能な気がします

可能だと思うが、「昔ながらの感」だけでは出来ないことが分かりました

可能だが、農薬や化学肥料も一部上手に使用して、生産・出荷を増やす事も必要だ

6) 虫・病気・収量・収入など、具体的に困っていることがあれば記入して下さい

▽. 収入不足

何を栽培しても虫が多いのには苦勞する

草にやっつけられています

自然を相手にするのでこれらのことは当然だと思う

食味…味の良いものが作れたらと思っている

7) 飯南町はクラインガルテンに取り組んでいますが、市民農園などへ関心がありますか

▽. 民間企業がそういう農園に関して企画を持つように促せばよいと思う

管理ができればビジネスになる

「大いにあります」「関心をもっています」「ある」

「特にはありません」「ない」

都会に住む人には興味があると思います

8) その他、ご意見・ご要望・お気づきになったことなどありましたら、ご記入下さい

▽. とても良い勉強になりました、ありがとうございます

今後ともよろしく願います。

体に良いものを食べて、安心安全な暮らしができたらいいです（農薬はちょっと…）

「試作（栽培）された方は大変だったと思うが、データを勉強させていただけるので、今後取り組む者にとっては、とても参考になると思う」

山中先生の講演時間がもう少し長ければ、もっと色々なことが聞けた様な気がします

「小祝さんのデータは一昨年に県の有機農業講座で勉強しましたが、資料を使うことには違いなく、やはりそういう面では自然農法に勝るものはないと思う。また、県は有機農業について技術が無いように思うが、勉強（研究）していないのだろうか」

アンケートに対し、真剣に向き合ったご協力を頂き、誠に有難うございました。

循環型農業研究会として、これからの活動の礎にさせていただきます。

今後とも、ご意見ご要望などありましたらお知らせ下さい。

飯南町 循環型農業研究会の事務局は [NPO法人:里山コミッション] が担当しています。

NPO法人:里山コミッション

電話・fax：0854-76-2871

H P：http://hakkou.hot-hanahana.com/

メール：jyunkan-kenkyu@hot-hanahana.com